

【誰もが平等に教育機会を得られる奨学金の拡充を！】

◆教育機会の均等を守るため、学費値上げ問題への対策を！

初当選以来、各所で取り上げてきた給付型の奨学金制度。経済的困窮から本来得られなかった学業機会を得ることで、学業成果を大学卒業後の就労につなげ、経済的状況を克服するきっかけづくりにしてほしい。また、こうしたプロセスを経る学生・若者をさらに増やしていき、低収入で生活する家庭の固定化を回避するための施策にも昇格させたい。このように強く願い、取り組んできました。

【浦安市奨学支援金制度（給付型奨学金）】

- ・国の制度を補完する意味で平成27年度から運用開始
  - ・令和5年度までに1125人 総額4億7659万5千円を支給
  - ・経済的理由により修学が困難である方の学生生活を支援
- 運用開始から9年間、国の制度が拡充されてきたことを受け、対象者で学業成績が特に優秀である方の支援強化など、状況に応じた見直しを行い、より効果的な制度として運用を図ってきた

制度の課題：今後も本市の状況に即した制度であり続けるため、国の動向などを注視しながら常に制度内容の検証が必要であること

質問では、現在の状況と環境変化による課題認識を述べて頂きました。

昨今では、各大学において「学費の値上げ」が話題となっております。私立大学だけにとどまらず国立大学でも、例えば先日も東京大学の学長と学生の代表が、学費値上げ問題について議論の場を設けたという報道がされておりました。そこで、学費値上がり問題の対策をあらためて質問。

教育次長からは「市の制度は、国の制度の動向や社会経済状況など、さまざまな状況を勘案して制度内容を見直していくことが必要。そのため今後も、教育費への支援のあり方は常に問題意識を持ち、状況に応じた検討を進めていきたい」とあり、学資による教育機会の均等を守るための対策を要望しました。

浦安市東野1-26-1-220

電話 080-1156-5828  
Mail: kichise4649@gmail.com  
発行: いちせ健二 後援会

住民に読まれ、議会での活動を伝えるニュースを目指して自ら作成し、直接配布しています。身近なことや市政のことなど、ご意見をお寄せ下さい！



令和6年 6月議会のトピックス

令和6年度6月補正予算より

・テーマパーク拡張に伴う影響調査事業【新規】1150万円

テーマパークの拡張を背景に、国内のみならず世界各国から多くの観光客の来訪が見込まれています。今後の都市計画を考えるための調査として、GPSで採取された人流データ等を使用しながら市内来訪者の動線分析等を行い、市内の受け入れ環境のさらなる充実を図ります。

・福祉相談デジタル技術活用事業【新規】629万円

AI等のデジタル技術を活用した福祉相談業務システムを、千葉県ほか7市の共同調達で行います。ガイダンス機能による的確な相談業務と、相談時の対面マイクや通話のコンバーチャー等で相談履歴入力を減らし、業務効率化をめざします。

・新型コロナウイルスワクチン予防接種事業【新規】3億2290万円

新型コロナウイルスの予防接種ワクチンについては、法改正により毎年秋冬の1回の定期接種となりました。対象は60歳から64歳で重症化リスクの高い方、および65歳以上の方に対して、接種に際し自己負担分を2,000円として病院での個別接種を実施します。

【参院選公約が具体化】帯状疱疹ワクチン接種が国の定期接種化へ！

痛みを伴う水ぶくれが帯状に現れる皮膚疾患の帯状疱疹のワクチンについて、公明党は令和4年に行われた参議院議員選挙の公約として、帯状疱疹ワクチンの定期接種化をめざして参りました。同時に、市議会でも粘り強く取り上げて参りました。

国の専門家会議では定期接種化に向けた検討を進め、6月20日の会議で国立感染症研究所のワクチンの分析結果が共有され、生ワクチンと不活化ワクチンのいずれについても有効性や安全性が確認され、費用対効果についても効果が期待できるとして、ついに接種費用を国で補助する「定期接種」に含める方針を決定しました。

今後、接種の対象年齢などについて専門家会議で議論し、正式に決定としています。市による接種費用助成は今年度から開始していますが、定期接種化でさらなる負担軽減を期待します。



【全ての市民が健やかに生きられるがん対策の推進を！】

◆浦安市がん条例に基づき、さらなる早期発見の仕組みの研究を！

平成30年制定「浦安市がん対策の推進に関する条例」

【市は、保健医療福祉関係者等と連携を図り、市民ががんに関する適切な情報を得られるよう、情報の提供をする】

【市は、がんの早期発見に資するため、がん検診の質及び受診率の向上等を図るために必要な施策を実施する】

条例にもとづき質問したところ、すい臓がんが増加傾向にありました。

- ・浦安市がんの死因順位：令和2年～4年の3年間の推移  
1位・肺がん 2位・すい臓がん 3位・胃がん
- ・3年間の傾向：肺がん、胃がんは減少しているものの、すい臓がんが令和3年から4年にかけて増加傾向  
(※千葉県衛生統計より引用)

令和5年9月議会において、すい臓がん対策の先進事例として紹介した、通称「尾道方式」といわれるスクリーニングの取り組みについて、市の評価を質問したところ「すい臓がんリスクのある患者の早期発見につながるよう、開業医と中核病院が連携する仕組みであり、すい臓がんの5年生存率が上がったという成果が発表されていること。また、他の地域の医療機関等でも、これと同様の取り組みや研究が進められていることは承知している。市としては「尾道方式」を含めたすい臓がんの早期診断の仕組みについて、その動向を注視しつつ、調査・研究してまいりたい」との回答が得られました。

さらに「尾道方式」で実施されている、市内かかりつけ医による「リスク因子のスクリーニング」について、浦安市医師会と共有の可能性について質問。

市からは「浦安市医師会との間では、国の『がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針』の中で推奨されているがん検診について、情報の共有を図っている。すい臓がん検診については、これまでのところ国の指針に含まれていないが、すい臓がんの死因順位が上位にあることもあり、今後も医師会との連携の中で国の動向を見極めつつ、情報の共有について検討してまいりたい」との回答があり、他の地域の医療機関における成果を引き続き研究してまいります。



【地域共生社会をめざした東野地区の開発整備を！】

◆東野福祉ゾーンの土地の利活用と周辺の路上駐車対策を！

東野パティオ北側の雨水貯留池の使用について、地域の自治会との協議を経て、利用に係る指針が令和4年1月に作成されました。この指針の中では、自治会が主催する事業のほか、東野パティオ内の事業所や隣接する障がい者福祉センター等が主催する事業に限定して、雨水貯留池を利用することができることとしています。そこで、普段利用がない時の別の活用方法として、近隣の集合住宅でエレベーター式駐車場のリプレースが検討されている場合「一時的にその退避先として一定の期間、行政財産として借りる」などの活用は可能となるのか質問。

市からは「同じ東野地区の東野プール駐車場において、過去に自治会のイベントや近隣の住宅工事に係る用地として、行政財産の使用許可を行った事例がある。一方、東野パティオ北側の雨水貯留池は、機能上、降雨時に敷地内に水が溜まる構造ではあるが、近隣の集合住宅等における修繕工事等に必要な用地として相談が寄せられた場合には協議・検討したい」とありました。雨水（雨季）に配慮しながら利活用の協議を図るとして、お知らせいたします。



東野パティオ北側  
雨水貯留池

また、東野パティオがオープンした同時期、おさんぽバスルートに指定され、バス路線化した一方で、東野パティオ出口付近に駐車している宅配事業者が、バス通行を妨げるケースも散見されたことから、福祉ゾーン周辺の交通課題整理として路上駐車対策を検討いただくよう質問。市からは「福祉ゾーン周辺の宅配事業者の路上駐車が、おさんぽバスなどの通行の妨げとなっていることについては認識している。今後、このような路上駐車を防止するため、マンション等の管理組合に対し、荷捌き用駐車場等の活用の呼びかけを行うとともに、浦安警察署と連携し、路上駐車対策を実施していきたい」とありました。

◆境川公園の周辺整備に合わせ、下流域の河川管理用通路の舗装を！

境川公園は地域に開かれた水辺の賑わいとして、多くの用途に活用できる空間を広く取る設計としています。この遊歩道整備は、境川公園から境川排水機場を抜け東水門の通りと結ぶ、水辺を望む散策路となる予定です。設計は、より多くの方が安全・快適に通行できるよう『道路の移動等円滑化整備ガイドライ



河川管理用通路

ン』に基づくユニバーサルデザインに配慮した設計としています。下流の砂利敷の河川管理用通路も、東野地区に続き海楽地区の整備を進めた後、国道357号を越え美浜地区、富岡地区についても、県と協議を行う考えが示されました。